

受験生・学校関係者の皆様

COVID-19 の蔓延で、社会全体や個人の生活も多大な影響を受けています。高校生の皆さんも勉学、課外活動、友人との交流など通常であれば味わえなかった学校生活での様々な機会を失って大変残念に感じていることと思います。私たちが募集をしている推薦入試(今回から学校推薦型選抜と名称が変更されました)にチャレンジしてみようと考えていた生徒さんは、校内外で行われる各種コンテストや英語の検定試験などが中止され、自分の力を証明する場所が失われた状況下で困っていると伝え聞いています。また、高等学校の教員の先生方におかれましても、学校推薦選抜に向けたコンテスト成績などの資料が手に入らず、本来であれば適正のある生徒さんを推薦する方法に苦慮しているものと拝察致しております。医学部がどのように学校推薦型選抜を行うのかについて疑問を持たれる方もおられるかもしれません。そこで、学校推薦型選抜募集を考えている生徒さんや高等学校の先生方に向けこのメッセージを発信しております。医学部では例年に引き続き学校推薦型選抜による学生募集を行い、令和3年度学校推薦型選抜募集要項のなかにあるように、求める学生像にあった生徒を積極的に取りたいと考えています。求める資料として、医学科としては、国内外の各種オリンピックなどのコンテストの成績資料やTOEFLやIELTSなどの成績資料を例示しています。健康総合科学科においても、高いチャレンジ精神を示す課外活動や研究発表会、コンテストに関わる資料などが例示されています。例年では確かにこれらコンテストの成績などは客観的資料として重要でありました。しかし、COVID-19 蔓延の影響で、コンテストや試験の開催が行われないものがあることや高等学校の所在する地域や設備などの理由から、開催されたとしても参加が困難であるなどの事情があることは承知しております。募集要項にあるように、これらは「例示」であり、例示リストにはないその他の校内行事における活動や生徒の潜在能力を示す様々な活動における事例などを推薦の資料としていただいても結構です。医学研究や健康科学の発展は人間の幸福に深く関わることで、医学部のミッションとして重要です。COVID-19 蔓延の状況下ならでは、医学研究への重要性を認識したり健康科学への貢献への思いを強くしたりする生徒のみなさんがいるものと想像します。高等学校の先生方におかれましては、そのような生徒さんのポテンシャルを見出し、それをアピールしていただいて、積極的にご推薦いただけますようお願い申し上げます。

2020年7月31日

東京大学医学部長 齊藤 延人